

保険収載されているメタルフリーによる補綴治療

五味 治徳

歯質欠損に対する歯冠補綴装置は、金属・コンポジットレジン・セラミックス等の材料から、単体或いは複合体として製作されています。

金属材料は、安定した物性から歯科補綴に頻用されていますが、審美性の観点や、金属アレルギー惹起等の不安もあります。

また、金属材料は価格変動の影響を受けやすく、安定した歯科診療費の維持には障害となりえます。

これらの理由から近年、本来審美歯冠材料であるセラミックスやコンポジットレジンの応用頻度が増えてきています。

代表的な CAD/CAM 冠（単冠）は、保険診療導入後多くの臨床応用がなされています。

一方、ブリッジにおいても、グラスファイバーにて補強された3ユニットブリッジが保険収載されました。

そこで今回これらの保険収載されているメタルフリー補綴治療の臨床ポイントについてお話します。